



土浦全国花火競技大会

会長 溝口 隆一 幹事 福田 昭一

- 例会場 ホテルマロウド筑波  
TEL.029-822-3000
- 例会日時 火曜日 12:30～13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F  
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-src.jp>
- Eメール [info@tsuchiura-src.jp](mailto:info@tsuchiura-src.jp)

2017～2018年度  
国際ロータリーテーマ



ロータリー:  
変化をもたらす

2017年10月31日 15号  
2017年10月24日 第3例会報告



地区HP



地区行事予定

- |                 |           |           |                   |
|-----------------|-----------|-----------|-------------------|
| 1. 点 鐘          | 溝口 会長     | 8. 出席状況報告 | 出席委員会             |
| 2. ロータリーソング斉唱   |           | 9. 来賓卓話   |                   |
|                 | (奉仕の理想)   |           | 警視 土浦警察署 署長 鷹巣正則様 |
| 3. 来賓紹介         | 溝口 会長     | 10. 点 鐘   | 溝口 会長             |
| 4. ご来訪ロータリアンの紹介 | 親睦活動委員会   |           |                   |
| 5. 幹事報告         | 福田 幹事     |           | (司会進行 高野 S A A)   |
| 6. 委員会報告        | 会員増強委員会   |           |                   |
| 7. ニコニコボックス発表   | 阿部副 S A A |           |                   |

**本日のプログラム**

NPO 法人「NEWS つくば」理事長 坂本榮様により  
ります来賓卓話でございます。

**次週のプログラム**

11月7日(火)は、米山記念館見学を含む優良事業  
所訪問報告でございます。

**出席状況**

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
92	75	7	83.33	6	7・9	8	92.22

## 【委員会報告】

### 会員増強委員会

説 田 賢 哉 委員長

本日例会終了後、第3回の会員増強特別推進委員会を開催いたします。メンバーの方はご出席いただきご意見を頂ければと思います。参加のほど宜しくお願い致します。

## 【卓 話】

警視 土浦警察署 署長 鷹 巢 正 則 様



本日は土浦南R Cにお招きいただきありがとうございます。また、日頃から警察活動各般にわたり、深いご理解とご協力をいただき、この場を借りて御礼申し上げます。

全国の刑法犯認知件数（犯罪の発生件数）は、平成14年をピークに減少しており、半分以下になっております。土浦警察署管内も同様の経緯となっており、本年9月末の刑法犯認知件数は1565件で、昨対▲283件で、減少率は▲15.3%となっております。ただ、1月～8月は前年より減少しましたが、9月だけ増加しております。年末に向けさらに減少させるための警察署の重点課題の一部を話させていただきます。

○第1は、侵入窃盗犯関係です。

刑法犯認知件数の約7割が窃盗事件です。土浦の9月の窃盗事件の中で住宅に侵入して盗みをする忍び込み事件が54件、空き巣狙い事件が52件発生しております。空き巣狙いは昨年より14件減っていますが、忍び込みは12件増えており、総数的には変わらない状況です。

皆様方が被害にあわないようにお願いがあります。忍び込み、空き巣狙いは住宅侵入窃盗と言っており、侵入するのにどのくらい時間が掛かると泥棒があきらめるかを調査しました。

侵入するのに2分かかるとあきらめる泥棒が17.1%、2分を超えて5分以内に諦める泥棒が51.7%となっており、侵入するのに5分以上かかる家では約70%の泥棒があきらめてくれるというのです。

また、忍び込みや空き巣等の侵入箇所を分析すると、窓が65.8%で出入口が30.6%になります。その窓から侵入する32%が無締まりで、出入口におよんでは59.9%が無締まりなのです。ですから、必ず玄関や窓は鍵をかけて下さい。できればサッシの鍵は補助錠で二重ロックにしてください。

○第2は自動車盗です。

自動車盗は9月末現在62件発生しており、昨対▲58件です。減っているとはいえ、まだまだたくさんの車が盗まれております。

被害が多いのは貨物車ではエルフ、ハイエース、キャンターです。乗用車ではプリウス、ランドクルーザー、ヴェゼル、アクア、クラウン、スカイラインなどになります。

土浦警察署管内は、自動車盗が多い地区でもあります。保管場所に防犯カメラや音や光を発する防犯装置を設置することをお勧めいたします。駐車場の扉がある場合は、夜間は必ず閉めて下さい。車両への盗難防止装置設置やGPS装置等、複数の防犯対策を活用することもお勧めいたします。

○第3はニセ電話関係です。

今年に入り、茨城県では9月末の被害数字は約3億6589万円になります。それでも昨年より半減しておりますが、既遂の被害件数は250件も発生しており、昨年とほぼ横ばいといった状態です。

詐欺の手口は多くあり、多い順から「オレオレ詐欺」が140件、次に「架空請求」が72件です。3番目が「還付請求詐欺」で22件、「融資保証委金詐欺」が15件と続きます。

例として以下のような電話は全て詐欺です。

- ・「プリペイドカード型電子マネー『ギフト券』で料金払え」
- ・「ATMを操作して医療費等還付」
- ・「レターパック、宅配便で現金送れ」
- ・「現金、キャッシュカード渡して」

また、オレオレ詐欺等では銀行や郵便局などでお金を降ろす時に、お金の使用先を聞かれたら

- ・自宅のリフォーム代にする
- ・車の購入費用
- ・お墓の購入資金

と答えるよう犯人が指導してくるのです。

架空請求等詐欺は、携帯電話やスマートフォン等で、

- ・有料サイト利用料金が未納
- ・動画サイトの登録料、退会金が必要

等とメール等で送ってきます。

相手の連絡先に連絡する前に警察に相談して下さい。

還付詐欺は「医療費が戻る」が圧倒的に多い手口ですが、銀行のATMの機械で医療費が戻ることはありません。携帯電話で相手の言うままに、ATMを操作して「送金しますから、送金ボタンを押してください」と言われて押すと、それはあなたが犯人に送金していることになります。

融資保証金詐欺は、お金を融資するために「手数料が必要です」等言ってきます。そのまま手数料名目のお金を取られて終わりです。

最近キャッシュカードを取られてしまう手口が多くなっています。百貨店や警察や銀行協会をかたり、突然電話がかかってきます。

- ・「あなたの口座の個人情報が漏れています」
- ・「あなたの名義で不正に口座が作られています」
- ・「あなたの口座が犯罪に使われています」等と言ってきます。

犯人は次に「キャッシュカードの利用停止の措置を執ります。キャッシュカードを預かります。暗証番号を教えてください」等と言ってきます。暗証番号を教えると「警察官や銀行協会の職員を自宅に伺わせます。キャッシュカードを預けて下さい。新しいカードを作り直します」等と言うのです。警察官や銀行協会等を名乗るものが自宅に来て、キャッシュカードを取られ、そのカードを使ってATMから預貯金を降ろされてしまいます。

騙されないポイントは、「他人にキャッシュカードを渡さない。暗証番号を教えない」ことです。

#### ○第4は飲酒運転の根絶です。

県内の交通死亡事故は10月22日現在114名（土浦警察署管内は、死亡事故は6名）の方が亡くなっており、全国ワースト6位です。

特に飲酒運転の根絶が課題です。昨年の飲酒運転の死亡事故の発生は21件で24名の方がお亡くなりになっており、全国最多です。土浦警察署管内は、交通事故を起こして飲酒運転が発覚する件数が県内第1位であります。飲酒運転の多い地域という事になります。

飲酒運転から県民を守るためには、飲酒運転の取締りを強化し、飲酒運転を根絶する社会全体の意識の高揚に繋げなければなりません。皆様においても周りの方々に注意喚起をお願いしたいと思います。

#### ○第5は不法就労、不法滞在対策です。

当県では入管当局に退去強制された外国人が、一昨年以来全国で最も多く不法就労していたとされております。不法就労・不法滞在は、それ自体が出入国管理及び難民認定法違反する犯罪であるとともに、凶悪事件被疑者として検挙される不法就労・不法滞在者も後を絶ちません。また、不法就労・不法滞在は、自ら違法状態にあるため、犯罪の被害に遭っても助けを求めることが難しい面もあり、この不法就労・不法滞在は様々な犯罪の温床となるため、発見、検挙するとともに陰で甘い汁を吸う不法就労の雇用斡旋を生業とするブローカーの検挙に力を入れています。

技能実習生が所在不明の人数が全国一位となっており、治安維持のために外国人対策に力を入れております

以上が取組になります。

○「Jアラート」について簡単に説明いたします。

Jアラートは全国瞬時警報システムであり、通信衛星や県市町村の同報系防災行政無線や有線放送電話を利用し緊急情報を住民へ瞬時に伝達する日本のシステムです。

対処に時間的な余裕のない大規模な自然災害や弾道ミサイル攻撃等の情報を瞬時に伝達します。政府からの注意情報という性格で、権限に基づく避難指示とは異なります。

・ミサイルが国内に着弾した場合

国が閣議で武力攻撃事態と認定して「警報」や「避難指示」、「武力攻撃災害への対処指示」が県に指示されます。県は市町村に伝達、市町村は住民に伝達することになります。

警察は警察庁の指揮により活動するとともに、県の機関として県知事の指揮下に入り、県と連携して避難措置、救済措置、武力攻撃災害に対処します。警察官は現場の状況により警察本部長や警察署長の指揮下の下、国民の生命身体財産の保護、公安の維持などで警察法第2条や警察官職務執行法により必要な避難誘導や現場活動等、必要な活動を開始します。県や市町村の各種計画に基づき行動を開始した場合、警察はそれに協力する形で活動を継続します。

○災害時における避難誘導

災害時の避難指示などは第一次的には市町村長が行いますが、市町村長が行えない場合は県知事が代行します。市町村長が指示できない場合や市町村長の要求があった場合は警察官や海上保安官が避難指示することができます。

土浦警察署としましては、安全・安心な地域の確立のために署員一丸となって努力する所存でありますから、これからも皆様方のご支援、ご協力をお願いします。

最後に、土浦南RCの皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。